

＜Ecrea: インストールサーバー動作環境表＞

●サーバー(ソフトウェア)

サーバーOS ※1※2	CentOS 6 Windows Server 2012 R2/2012/2008 R2/2008
JavaVM	JRE7 ※3
WEBサーバー ※4	Tomcat7.0(Ecrea製品CDに付属)
DBサーバー ※5	PostgreSQL9.3(Ecrea製品CDに付属)

※1: 物理的メモリの最大値はOSにより異なります(4GB～)

※2: 別途マイクロソフト社の製品ライセンス体系に沿って、Windows Serverの必要ライセンスをご購入下さい。

※3: サン・マイクロシステムズ社製品のみに対応です。

※4: WEBサーバーが複数台になる構成やSSL証明書を利用する場合は、Apache2.2が必要となります。

※5: 文字コードはUTF-8を基準に作成されていますのでCSV入力(MS932)・メール送信(ISO-2022-JP)の文字変換にて不都合が生じる文字があります。

●サーバー(ハードウェア) ※6 ※7

CPU	2コア/2.06Hz以上(x86系プロセッサ搭載機) ※8
メモリ	4GB以上 ※9
HD	80GB以上 ※10

※6: 利用製品やライセンス数、運用環境によりスペックは異なりますので、詳細はお問合せ下さい。

※7: サーバーを外部公開する場合、セキュリティを考慮し、WEBサーバーとDBサーバーを分割して構築することを推奨致します。

※8: IA-64系CPUサーバーには、対応しておりません。

※9: クライアント数、稼働アプリケーションに依存します。

※10: 利用データ量に依存します。活動情報などで利用できる「添付ファイル」はOS領域に保存されます。

＜製品ご利用にあたっての注意事項＞

WEBサーバー関係		
IPアドレス	社外からアクセスを行う場合グローバルアドレスが必要です。	
ポート番号	Httpポート: 初期値=8080	Ecreaへアクセスするためのポートです。 推奨は80ポートです。
	SHUTDOWNポート: 初期値=8005	Tomcatがシャットダウン用に内部で利用するポートです。
	AJP13ポート: 初期値=8009	TomcatがAJP通信をする際に内部で利用するポートです。
	初期値=5432	DBサーバーが別立ての場合、更にポートが必要です。
SMTPサーバー(ドメイン又はIP)	メール通知機能や管理者宛にログイン失敗を通知するためにメールを送信する際に利用します。SMTPサーバー側でリレーが行える必要があります。「Relay access denied」でリレーされない場合、ドメイン外(携帯電話など)へ送信できません。	
管理者用メールアドレス	メール通知機能で送信する際に社員情報にメールアドレスがない場合に利用します。また、管理者宛のメールを送信する際の宛先として利用します。	
POPサーバー(ドメイン又はIP)	メールサーバーにて、POP before SMTPをご利用の場合、この情報が必要です。	
SSL証明書	SSL通信を行う場合に必要です。通常、443ポートが必要になります。(SSL通信を行うための、サーバー証明書の設定作業などは弊社では行いません。お客様にてご対応頂きます)	
Java(JDK)	JAVA_HOME:	OSの環境変数として設定する必要があります。Windowsの場合、システム環境変数側への設定が必要です。
	インストール	パスには空白、2バイト文字は不可です。 お客様にてインストール作業を実施する場合、ライセンスの規約上、CDへ焼いてお渡しできませんのでお客様がダウンロードしていただく必要があります。
Tomcat	CATALINA_HOME:	OSの環境変数として設定する必要があります。Windowsの場合、システム環境変数側への設定が必要です。
	TOMCAT_OPTS:	OSの環境変数として設定する必要があります。Windowsの場合、システム環境変数側への設定が必要です。
	インストール	パスには空白、2バイト文字は不可です。

DBサーバー関係		
IPアドレス	Webサーバーと分割して構築する場合、Webサーバーからアクセスできる必要があります。分割して構築する場合、プライベートアドレスにする方が安全です。	
ポート	Ecreaへアクセスするためのポートです。 Webサーバーと同一サーバーの場合でも必要です。	
文字コード	対応している文字コードはEUC_JPだけです。	
インストール先パス	プログラム	パスには空白、2バイト文字は不可です。
	データ	パスには空白、2バイト文字は不可です。